

# 次世代ユビキタスディスプレイ調査専門委員会 解散報告書

電子デバイス技術委員会

## 1. 解散の趣旨および活動報告

本調査専門委員会では、電子ペーパーや動画用フレキシブルディスプレイ等の、ユビキタス情報環境での情報受容に適したディスプレイ（以下、ユビキタスディスプレイ）の研究開発動向や応用動向を調査し、次世代のユビキタスディスプレイ構築に向けた課題を明らかにするとともに、今後の方向性を探ることを目的として発足した。主な活動内容は以下の通りである。(2009年9月時点での見込み)

- (1) 2009年11月までに、各研究開発機関の研究開発内容調査を含む10回の調査委員会を開催した。
- (2) 2009年の本学会C部門大会において企画セッションを開催し、成果報告として5件の講演を行った。
- (3) 2008年から2009年にかけて下記4回の研究会・フォーラムを関連他学会と共催し、ユビキタスディスプレイを含む情報ディスプレイ分野全般の学術振興に貢献した。

2008年1月、2009年1月 発光型/非発光型ディスプレイ合同研究会

2008年11月、2009年11月 高臨場感ディスプレイフォーラム

以上の活動により、例えば、電子ペーパーのカラー化に関する新技術、フレキシブルディスプレイ用TFTの性能改善に関する新技術、電子ペーパーを普及させていく上での実用技術や商品企画に関する諸課題が明らかになるなどの成果が得られた。これらは、次世代ユビキタスディスプレイの実現を目指したデバイス開発動向やそれらの応用動向を明らかにするという、本委員会設置の目標を一定レベルで達成するものであり、2009年12月をもって本委員会を解散したい。

## 2. 成果報告の形態

解散に当たり、2009年C部門大会での企画セッションTC3での発表を持って成果報告とする。  
また、2009年11月に高臨場感ディスプレイフォーラムを関連他学会と共催した。

## 3. 成果報告について

大会名称：平成20年電子・情報・システム部門（C部門）大会  
テーマ：次世代ユビキタスディスプレイに関する研究開発最前線  
セッション番号：TC3 開催日：2009年9月4日（金）  
講演題目（5件）：

1. 電子ペーパーの研究開発最前線
2. ユビキタス技術を用いた学習環境のデザイン
3. 半導体/絶縁膜界面制御による有機TFTの高信頼化
4. プラスチック基板上のポリシリコンTFTと応用
5. 有機TFTを用いたフレキシブルディスプレイの試作

## 4. 今後の問題点

本委員会ではユビキタスディスプレイに関する最先端の技術動向について調査し、それらの課題や次世代の方向性をより明確に把握できるなど、一定の調査結果が得られた。しかし、ユビキタスディスプレイデバイス技術とその応用技術は未だ発展途上にある。例えば、通常、書類と言えはA4サイズの紙を指すが、電子ペーパーの世界においては、その半分のA5サイズの製品化がごく最近緒についたばかりである。また、携帯ディスプレイにおける3次元表示など、ユビキタスディスプレイの情報表現力向上に向けた新たな試みも近年見られる。このように、ユビキタスディスプレイの将来像を明らかにするためには、今後、新たな視点を含めたさらなる調査活動が必要と考えられる。